

## フラーが開発リソース最適化プラットフォーム「Co-Assign」を導入。 リソースの可視化でアサイン調整・予定管理工数 7 割減、 機能別組織×プロジェクトの“ハイブリッド型組織体制”の構築に貢献

株式会社アイリッジ（本社：東京都港区、代表取締役社長：小田 健太郎、東京証券取引所グロース：3917、以下「アイリッジ」）は、プロジェクト管理の DX（デジタルトランスフォーメーション）を目的として、企業のデジタル戦略構築からプロダクト開発・グロースまでワンチームで伴走支援する「デジタルパートナー事業」を手がけるフラー株式会社（本社：新潟県新潟市、代表取締役社長：山崎 将司、以下「フラー」）が開発リソース最適化プラットフォーム「Co-Assign」（コアサイン）を導入したことを発表します。




プロジェクト	2022年						コメント
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
〆 〆 〆	0.9	0.9	0.8	0.8	0.6	0.0	
〆 〆 〆	1.2	1.2	0.7	0.2	0.2	0.0	
〆 〆 〆	0.5	0.5	0.5				
〆 〆 〆	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2		
〆 〆 〆	0.5	0.5					
〆 〆 〆	1.2	1.5	0.5	0.5	0.0	0.0	
〆 〆 〆	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
〆 〆 〆	1.1	1.1	0.1	0.1	0.1	0.0	
〆 〆 〆	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
〆 〆 〆	1.1	1.1	0.1	0.2	0.0	0.0	

Co-Assign 管理画面イメージ

### 導入の背景

フラーではもともと、エンジニア・デザイナー・プロジェクトマネージャーなどプロジェクト遂行に必要なさまざまな職種の人材をひとまとまりのチームとする組織体制を採用していました。

しかし、コロナ禍のデジタルマーケティング活況による事業成長を背景に、フラーではこの 2 年で人員数が約 2 倍の 123 名(2022 年 6 月末)となるなど組織が急拡大。プロジェクトの増加やチーム内の人員増に加え、人材の教育・成長の観点から機能別組織へと体制を変えようと 2021 年秋ごろから検討を進めていました。

ただ、機能別組織では職能を横断してプロジェクトにメンバーをアサインする際の調整に手間がかかったり、開発リソース全体を俯瞰して先々の見通しを立てたりするのが難しかったりするなどの課題があり、プロジェクトの安定遂行という視点からも組織体制の変更に踏み切れずにいました。

このような背景から、2021 年 12 月～2022 年 3 月のトライアル利用を経て、4 月に Co-Assign を導入しました。

### Co-Assign 活用状況と導入半年での成果

#### ■ 導入前に比べアサイン調整・予定管理工数が最大 7 割減。現状確認ではなく未来の計画のための時間を創出

フラーでは現在、開発に携わる約 40 名が Co-Assign を利用しています。管理対象のプロジェクトは約 100 件で、各プロジェクトマネージャーが Co-Assign 上で要員計画を登録した上で、組織マネージャーが集約・一元化された情報をもとに、週次の定例会議でアサインの調整やメンバーの稼働予定の管理を実施しています。

Co-Assign 導入前、フラーではスプレッドシートでアサイン調整やメンバーの稼働予定管理をしていました。定例会議の時間内ではアサインの現状把握にとどまり調整までではできず、会議外で個別にコミュニケーションを

取るなど追加で時間を取られていました。Co-Assign 導入後、アサイン調整は定例会議内で完結するようになり、調整や予定管理の工数を最大7割削減しました。

また、Co-Assign の管理画面からリソース全体の稼働見通しが把握できるようになったことで、数カ月先の開発リソースや人員体制といった長期の計画検討もしやすくなり、会議やコミュニケーションの質も向上しました。

#### ■職能別組織×プロジェクトのハイブリッド型組織体制の構築に貢献

Co-Assign を活用した一連のリソースの可視化によりプロジェクト体制が組みやすくなったことが奏功し、フルーは2022年3月の正式導入から1カ月後の4月には職能別の組織体制への変更を実現することができました。

フルーは現在、職種別の各組織でナレッジ共有やメンバーの成長を促進しつつ、プロジェクト体制はスピーディーに職種を横断してチームを組成する、ハイブリッド型の組織体制となっています。

・導入事例詳細：[https://www.co-assign.com/post/jirei\\_vol2](https://www.co-assign.com/post/jirei_vol2)

#### 今後の予定

フルーでは、Co-Assign からエクスポートできる稼働予定データと外部の各種データ（労働時間、業務委託外注費用、プロジェクト売上等）を照らし合わせた予実分析が始まっており、今後はデータ分析による予実管理精度の向上効果も期待されています。

Co-Assign では開発リソースの可視化を通じて、営業等ビジネス側と開発側のコミュニケーションの効率化や、間接原価（アサイン待ちの待機工数）削減による稼働率の向上などを支援し、事業成長を強力に後押しすることを目指します。

#### Co-Assign（コアサイン）とは

「Co-Assign」は、社内外人員のスキルと稼働予定の管理、プロジェクトの要員計画やアサイン調整、人材調達が一つになった、リソース最適化プラットフォームです。社内のエンジニアやデザイナー等の稼働状況をひと目で確認でき、適切なプロジェクトへボタン一つでアサインできるだけでなく、利用企業と外部協力企業が共同利用することで、外部協力企業から速やかに人員を調達し、リソース不足も解消できます。自社に関わる社内外の人材とプロジェクトの全体像を一元化・見える化し、プロジェクトの予算や人員を管理するプロジェクトマネージャー（PM）や、人材調達や支払い業務で外部協力企業とやり取りをするバックオフィスの生産性を大きく向上します。

<https://www.co-assign.com/>

#### フルー株式会社について

所在地：

【柏の葉本社】千葉県柏市若柴 178 番地 4 柏の葉キャンパス 148 街区 2 KOIL

【新潟本社】新潟県新潟市中央区笹口 1 丁目 2 番地 PLAKA2 2 階 NINNO

代表：代表取締役会長 渋谷 修太、代表取締役社長 山崎 将司

設立：2011年11月15日

資本金：37百万円

事業内容：デジタルパートナー事業

<https://www.fuller-inc.com/>



### 株式会社アイリッジ

株式会社アイリッジは、「Tech Tomorrow : テクノロジーを活用して、わたしたちがつくった新しいサービスで、昨日よりも便利な生活を創る。」という理念のもと、スマートフォンアプリを活用した企業のOMO (Online Merges with Offline) 支援を軸に、リテールテック、フィンテック、MaaS、VUI (音声インターフェース)、業務支援等、幅広い領域でDXを支援しています。OMO支援ではアプリの企画・開発における業界トップクラスの実績に加え、アプリマーケティングにも強みを持ち、データに基づく施策でユーザーを優良顧客へと育成するファン育成プラットフォーム「FANSHIP」を通じて、購買促進やCX改善の支援を行っています。

<https://iridge.jp/>

※記載されている各社の会社名、サービス名、製品名等は、各社の登録商標または商標です。